

対談

落語家

春風亭昇太

2010年度 社団法人浜松青年会議所 第60期理事長

山崎 貴裕



事業紹介

100%例会 4月度例会

「つながりが組織(ひと)を創る! ~行動力溢れる浜松JCへ~」



2010.9.5 SUN 開催

第43回 **ブロック** in 浜松

会員大会
貴乃花親方講演会

JC青年の船
「とうかい号」

献血推進活動

わんぱく相撲

移動オーケストラ教室

JC Hamamatsu wave 2010 Vol.3

社団法人浜松青年会議所 広報マガジン
[はままつJCウェブ]

温故 笑顔溢れるまち
創新 浜松の創造

<http://www.hamamatsujc.or.jp/>

ホームページもぜひご覧ください!



JCとは? 青年会議所 (JC-Junior Chamber) は「明るい豊かな社会の実現」という同じ理想と使命感を持つ若い世代の人々を広く集め、友情を深めつつ、強く影響しあい、刺激しあって若さが持つ未来への無限の可能性を自分たちの手で効果的に描き出し、青年の情熱から生まれる果敢な行動を結集すべく組織された団体です。



活動報告

わんぱく相撲



6月20日(日)わんぱく相撲静岡県大会が静岡市葵区内城北公園で開催されました。浜松からは、わんぱく相撲浜松場所で優秀な成績を収めた6年生男子の加茂虎太郎君、5年生男子の橋本健君、4年生男子の福田純大君、5年生女子の松谷佳歩さん、4年生女子の時田静佳さんの計5名が参加しました。浜松場所の後、週2回の練習を行い、力をつけた浜松からの参加者たちは、それぞれに好成績を収め、4年生福田純大君は3位入賞し、8月1日に東京両国国技館で開催されたわんぱく相撲全国大会にも出場いたしましたが、惜しくも 回戦で敗退してしまいました。参加した子供たちのみならず、その姿を見ていた大人たちも勝負の厳しさ、努力の大切さを学ぶことが出来た大変有意義な事業であったと思います。



活動報告

JC青年の船「とうかい号」 2010年6月5日(土)～6月13日(日)【サイパン】



とうかい号、第37船乗船者の福田です。「歩み」～君が超えられない壁はない!新しい自分に逢いに行こう!をテーマに9日間の研修船に乗船してきました。一般乗船者に多くの感動と出会いを与える側でありながら、同様の感動と出会いを与えられ、今でもテーマ曲であるGreeenの「歩み」を聞くたびに、あの感動を思い起こす程のめり込んでしまいました。これも、手を抜く事なく、乗船者のために1つずつ準備してきた事が大成に繋がったからこそだと思っております。この一般乗船者を集めた研修は、出向してきた我々JCメンバーの試練であり、日々の社会生活においても、成長する機会ではなかったかと思っております。準備から含め、仕事にも支障がでる程の委員会回数であったり、合宿であったり、多くの事を犠牲にしてきました。真剣にやればやるほど、犠牲にする事が多かったですが、出向者同士が同じように時間を費やす事により、共有・共感できる生涯の仲間となりました。

それから、9日間会社不在となる事で、自分不在の会社内をどのようにして効率よく仕事をまわしていくかを、考えていくよい機会となった事も事実ですし、経営側にたつ同じJCメンバーも、乗船を機にいろいろと対策をとっており、乗船中にいろいろな意見交換もでき良い刺激にもなりました。

お金と時間があれば、いつか船による楽しい世界一周はできると思いますが、9日間かけて一般乗船者向けに研修を行い、その成長ぶりを目にするだけでなく、自分も成長させられるすばらしい「とうかい号」に乗船される機会があれば、是非乗船していただけたらうれしいです。それ程すばらしいJC事業を乗船経験者だけでなく、同じJCメンバー、それ以上に同じLOMメンバーの皆様一人でも多く携わっていただけたら幸いです。

活動報告

第2回入会式 7月度例会

7月15日(木)19時～21時、グランドホテル浜松 鶴の間にて、7月度例会 入会式を開催いたしました。「奉仕」「修練」「友情」を基本に「明るい豊かな社会」の実現を共通の理念とする青年会議所運動に賛同する、後期入会希望者22名が入会いたしました。多くのメンバーが見守る中、一人ひとり、山崎理事長・望月直前理事長から入会承認証とJCバッジを授与された後、新会員を代表して尾崎貞典君が、「いろいろと経験をしながら、明るい豊かな社会の実現を目指して活動します」と抱負を述べました。また当日は第55理事長を務められた内山智一郎先輩に「JC運動とは。そして今伝えたいこと」と題して、ご講演をいただき、青年会議所運動の魅力や楽しさを教えていただきました。



開催事業案内

2010年度の浜松青年会議所の活動の一部です。

こんな活動もしています!

活動報告

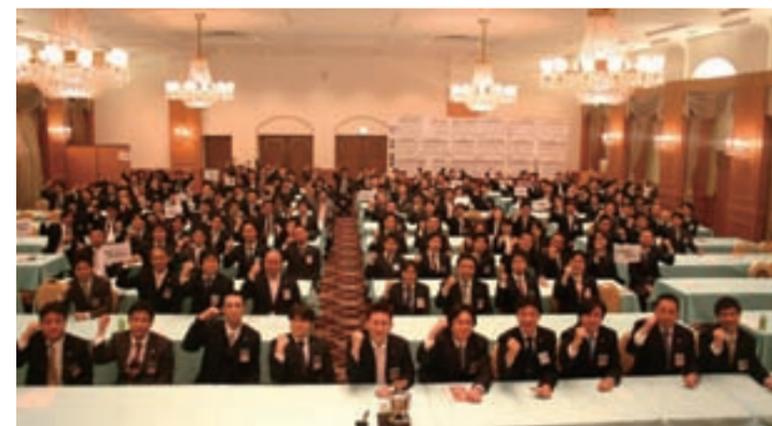
100%例会 4月度例会

「つながりが組織(ひと)を創る! ~行動力溢れる浜松JCへ~」

4月度例会では、「つながりが組織(ひと)を創る~行動力溢れる浜松JCへ~」と題して、次代の例会(事業)を考える例会を行いました。

2000年代運動指針が発動されて10年目の節目に、過去の事業を検証し、地域で活躍する市民団体や市民協働を推進する行政のお話を伺い、今後の例会(事業)のあり方を考える内容として取り組みました。理事長が100%例会を実施すると決断したときからキャビネット、理事会構成メンバー、各委員会、同期など様々なつながりで出席の呼びかけを行い、100%例会の当日を迎えました。21:50に最後の1名が到着し、100%例会(メンバー数189名)を達成することができました。これは、浜松JCでは1995年以來の快挙となりました。

この4月度例会での100%例会達成をきっかけに、更なるつながり(メンバーの結束)を創出し、全メンバーが、英知と勇気と情熱をもって~笑顔溢れるまち浜松の創造へ向け邁進していくと確信しております。



活動報告

第39回 移動オーケストラ教室

2010年6月20日(日) 浜松市立城北小学校



6月20日(日)浜松市立城北小学校に於きまして、6月度例会「第39回移動オーケストラ教室~城北カンタービレ~みんなで笑顔奏でよう」が開催されました。当日は、雨天にも関わらず多くの小学生・PTA・JCメンバーに参加を頂き盛大に執り行うことが出来ました。参加した子供たちには実際に楽器に触ったり、指揮者の体験コーナーを設け楽しく演奏に参加して頂き多くの子供たちに笑顔を与えることができ、「笑顔溢れるまちはまつの創造」の一助になれたと思います。私自身もこの39回と歴史ある事業に携わることができ、本当にうれしく思っています。また、事前の準備・当日の設営をお手伝い頂いた皆様に感謝を申し上げます。移動オーケストラ教室に興味のある方は是非お問い合わせをお待ちしております。

事業案内

9月度会員セミナー

PRプロデューサー 飯野晴子の仕事道

開催日時 2010年9月9日(木) 19:00~21:00

開催場所 グランドホテル浜松 孔雀の間

9月度会員セミナーでは、飯野晴子氏を講師にお招きし題して『PRプロデューサー 飯野晴子の仕事道』を講演いただきます。業界では“伝説のPRプロデューサー”とよばれた飯野氏。35歳で離婚後初めて就職。その後某広告代理店の営業となるやめきめき頭角を現しロエベ、フェラガモ、ポルシェ等数々のラグジュアリーブランドをクライアントに付けた伝説のPRプロデューサー。この飯野氏をお招きし、『年下だけどキャリアは上のツワモノたちに負けたくない一心で選んだ手段』や『飯野流チャンスをつかむ方法』などを講演いただきます。

「元祖キャリアウーマン」として、様々な働く女性を魅了している飯野晴子さん。65歳となった今も広告業界に強い影響力と存在感を示す一方で、年齢にとらわれず美しく生きる「プロエイジ」の実践者として、世の女性から圧倒的な支持を集める。

photo: オフィシャルホームページより

活動報告

第3回 献血推進活動 2010年7月18日(日)



7月18日(日)10時~16時、遠鉄百貨店東側にて、献血推進活動を実施しました。2010年度に入会した新会員も参加して、積極的に献血、そしてPR活動を行いました。血液は人工的に作ることも長期間保存することもできません。医療機器等は日進月歩の進歩を遂げ設備は素晴らしいものが続々と開発されておりますが、その設備も輸血用血液がなければまったく役に立ちません。当日は、多くの方々に献血のご協力をいただくことができました。ありがとうございました。

活動報告

サマーコンファレンス2010

7月24日(土)~25日(日)パシフィコ横浜

2010年7月24日(土)~25日(日)の二日間に渡り、サマーコンファレンス2010が横浜の地にて開催されました。全国の青年会議所メンバーが参加をする中、(社)浜松青年会議所からも多くのメンバーが当地へ赴き、政治・経済・社会など様々なジャンルのフォーラムやセミナーへ参加をしてきました。参加をした浜松JCメンバーが、この機会を通じ、山崎理事長が掲げられる“笑顔溢れるまち浜松の創造”へ繋げて頂けるものと確信しております。ご参加頂きましたメンバーの皆様、誠にありがとうございました。



活動報告

第2回通常総会 2010年8月5日(木) グランドホテル浜松『孔雀の間』



2010年8月5日(木)グランドホテル浜松『孔雀の間』にて、第2回通常総会が行われました。2011年度(第61期)理事長予定者として、平野 莊太郎君が選出されました。任期は平成23年1月1日~平成23年12月31日となります。同じく役員選出に関する件として、監事選挙・理事選挙も行われ、大いなる盛り上がりを見せる中、2011年度(第61期)役員予定者が選出されました。また、重要な議案として、公益社団法人に関する定款変更の議案も可決承認され、2011年に60周年を迎え、公益社団法人を目指す社団法人浜松青年会議所にとって、大きな歩みとなる総会となりました。

新理事長予定者挨拶

2011年度理事長を務めさせていただきます、平野 莊太郎と申します。1951年に設立した社団法人浜松青年会議所は、本年60年目を迎え、2011年は新たな一歩を踏み出します。60年という長きに亘るJC運動が、来年61年目を迎えることができるのは、浜松というまちを自分たちの手で何とか「明るい豊かなまち」にしようという高い志を持った多くの先輩諸氏が、60年間途絶えることなく、その想いを継承してきた賜物であると実感しています。2011年度もその想いを引き継ぎ、更なる飛躍を目指します。また、2011年は公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会の会長を輩出することで、メンバーにはより広い視野から浜松を見据え、今後の浜松の発展に必要なものを見極めていただきたいと思っております。設立当時の創始の精神を忘れず、我々の住むこの浜松が光り輝く未来を迎えることができるよう、来年1年理事長職を全うしていく所存ですので、よろしく願いいたします。



事業案内

第43回 ブロック会員大会 in 浜松

2010.9.5 SUN 会場 浜松アリーナ

9月5日(日)浜松アリーナにて、第43回ブロック会員大会を開催致します。今大会のテーマは Move Forward!!~21の志で掴む輝かしき静岡の創造~です。大会は、3部構成となっており、第1部は貴乃花親方をお招きし「真っ向勝負! 勇気を持って果敢に挑戦」と題し、講演会&トークセッションを行います。親方の講演から、常に夢や目標を持って生きることの重要さと、何事にも果敢に挑戦する事の必要性を感じて頂きます。第2部は、式典・大会鍵の伝達式を行います。静岡ブロック協議会の事業説明・報告を行う場であるとともに、2011年度主管LOMへの大会の鍵をしっかりと引き継ぐ場でもあります。浜松メンバー全員で次年度への引き継ぎをしましょう!!そして第3部は、懇親会です。多くのメンバーと懇親を深めながら楽しいアトラクションやエンタメで大いに盛り上がって頂き、メンバー同志の力強い絆を育むとともに、JC運動の明日への活力を養いましょう!!第43回ブロック会員大会は浜松JCの全体事業でもありますので、多くのメンバーのご参加・ご協力をお願い申し上げます。真っ向勝負!!



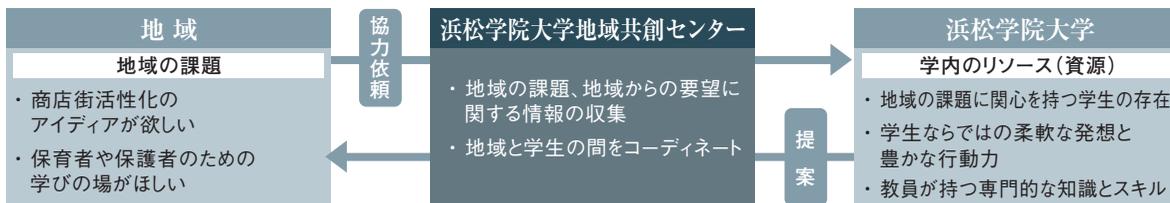
開場 12:00~ 開演 13:00~14:30
会場 浜松アリーナ メインアリーナ
貴乃花親方 魚住 咲恵 トークセッションパートナー
一般の方も第2部の式典をご覧いただけます。

地域と大学をつなぐ

浜松学院大学 地域共創センター



地域共創センターが果たす役割



まちづくりに青年の発想とパワーを吹き込もう ～まちなかにぎわい協議会 学生ワーキンググループの可能性～



浜松中心街地は、大手デパートの撤退に象徴されるように、人々の交流とにぎわいをどう取り戻すかが大きな課題となっています。そこで「自分たちのまち、自分たちの手で」という意識で、民主主体の横断的な組織を元に、行政の支援を得ながら、中心街地の収容力を高め、活性化を進め、この地域の事業価値の向上と発展に寄与する目的で、この4月に「浜松まちなかにぎわい協議会」が設立されました。その協議会が目じたのは、市内の大学との協働でした。現在浜松市内には、6つの大学がありますが、学生同士の交流の機会は、学園祭やクラブサークル活動くらいで、ましてやまちづくりというコンセプトで一緒にテーブルに着くというチャンスはほとんどありませんでした。浜松学院大学では、地域共創センターでにぎわい協議会から「学生の豊かな発想とパワーをぜひ」というラブレコールに積極的に応えていこうと、まちづくりに関心を寄せる学生に参加を呼びかけました。人数は少ないですが4名の学生が意思を示してくれました。そして6月25日に、まちなかにぎわい協議会の事務所に、静大、文芸大、浜松大、そして学院大の4つの大学から12名の学生が参加して、初顔合わせとまちづくりワークショップを行いました。学生は初対面とは思えないくらい、最初から意見を堂々と言い合い、思いを形にしていきました。中心街地を学生の目から魅力ある場所にしていきたいという思いが伝わってきました。7月には毎週金曜夜に集まって、学生と業者のイベントワーキングを進めています。このワークは秋冬に具体的な企画となって日の目を見ることでしょう。出てきた案を紹介すると、シャッターの下りている店を借りて、市内の学生同士の集まる店を作り、大学の枠を越えて、いろいろなイベントをしていこうというものです。また、鉄道交通に関心のある学生の提案からくるのコースにイルミネーションバスを走らせようという提案や、そもそも夜の街というイメージを昼間でも若い人が安心してショッピングやイベントを楽しめるように街を明るくしたりという提案でもありました。7月より進めているワークショップは、世代でいうと20歳近く離れた商業者の皆さんと合同のワークという形を取り、学生にとって大きな刺激となっています。それは商業者も皆さんも同じではないでしょうか。またそのワークでは、1.目的、2.コンセプト、3.内容、4.主催者、5.関わり方、6.経費、7.広報、8.準備、9.スタッフ、10.集客・経済波及、11.総合評価 という観点から話し合いをすることで、学生は学生の課外活動や学園祭のより効果的な運営についてのヒントを得られたようです。今までは学生はイベント当日の手伝いのな位置づけでしたが、学生が企画・運営・評価に関わることで大きく成長できる可能性を感じました。こうした学生たちのチャレンジを、市民の皆さんはあたたかく、長い目で見守っていただきたいと思います。



●第1回大学生ワークショップ 遠州鉄道株取締役社長 竹内善一郎氏を囲んで

詳しいお問い合わせは

浜松学院大学地域共創センター 浜松市中区布橋三丁目2番3号 tel.053-450-7003



編集後記 EDITOR'S NOTE

「Hamamatsu JC wave 2010 Vol.3」いかがでしたでしょうか。この時期は、昨年計画されてきた様々な事業が行われます。また、8月に開かれた第2回通常総会の場においては次年度の新体制も決まりました。秋～冬へと「笑顔溢れるまち 浜松の創造」を掲げる本年度の運動も集大成を迎え且つ新年度の新たな運動の創造と青年会議所も慌ただしく動き出します。今後もJCの活動を身近に感じていただけるような広報誌の発行を目指していきますのでご期待下さい!

広報委員長/竹内一 広報委員会/石野順司、藤田真一、飯田康人、萩田智之、東秀行、岡島英樹、加藤守啓、仲山端也、山本昌義